

JIS 認証取得のご案内

SK-181GT は、JIS B 7922 への適合性について、国の登録認証機関による認証を取得しました。

	変更前（JIS適合品）	変更後（JISマーク表示製品）
JISマーク	なし	あり
認証の種類	自己適合宣言	登録認証機関による認証
製品名	黒球型携帯熱中症計	黒球型携帯熱中症計（JIS認証）
製品番号	No.8313-50	No.8313-60
JANコード	4974425831227	4974425831272
適合範囲/ 認証範囲	JIS B 7922：2023 クラス 2 クラス 2 の適用範囲 WBGT指数 20.0～40.0 °C 相対湿度 30.0～90.0 %rh 推定黒球温度 20.0～40.0 °C 気温 20.0～30.0 °C	JIS B 7922：2023 クラス 2 JIS認証番号：CE0226001 測定範囲（JIS B 7922：2023抜粋） WBGT指数 15～40 °C 相対湿度 30～90 %rh 推定黒球温度 20～60 °C 気温 20～50 °C

株式会社佐藤計量器製作所

黒球型携帯熱中症計

SK-181GT

取扱説明書

SK SATO

はじめに

このたびは黒球型携帯熱中症計「SK-181GT」をお買い上げいただきありがとうございます。

◎この製品は、温度・黒球温度・湿度および暑さ指数（WBGT）をはかるものです。それ以外のご使用はしないでください。

※暑さ指数（WBGT）とは、Wet Bulb Globe Temperature（湿球黒球温度）の略でISO 7243/JIS Z8504で規定されている作業者の熱ストレス（暑熱環境）の評価に使用される指数です。熱中症予防の目安としてご使用ください。

◎ご使用前には必ず取扱説明書（本書）をお読みになり、大切に保管してください。



本器をご使用いただく前に

本器で熱中症を防ぐことはできません。

本器は熱中症予防の目安となる暑さ指数（WBGT）を測定する製品です。

熱中症の発症は暑熱環境の影響のほか、個人の健康状態や暑熱環境に対する習慣性など様々な要因があります。

本器をご使用するにあたり、上記の要因をよく理解していただき、熱中症予防のための目安としてご使用ください。



警告



爆発注意

本器は防爆仕様構造ではありませんので、引火性ガスを含んだ雰囲気では絶対に使用しないでください。

爆発するおそれがあり大変危険です。

ご不明な点がございましたらお買い上げ店または弊社にご相談ください。



注意

本器を正しくご使用いただくために、以下のことをお守りください。

・標準空気組成（一般大気）以外でのご使用は絶対にしないでください。

・本器は防水構造ではありませんので絶対に濡らさないでください。

・本器が結露した場合は、すみやかに電源を切り常温で自然乾燥させてから再度ご使用ください。

・本器は精密にできていますので落下させたり、振動や衝撃を与えないでください。

・保管や輸送の際は、購入時のトレーをご使用ください。気泡緩衝材（エアパッキンなど）や、ポリエチレン袋（ポリ袋など）・非帯電性ポリエチレン袋（一般にライトブルーなどの色付きの袋）は使用しないでください。温湿度センサの感湿膜が劣化する可能性があります。

・分解、改造しますと故障の原因となりますので、絶対にしないでください。

・温湿度センサは絶対に直接手で触れないでください。

・粉じん（砂埃）が多い環境で使用する、温湿度センサの感湿膜が劣化する可能性があります。

・電氣的ノイズが発生する環境でご使用になりますと、表示が不安定になったり、誤差が大きくなる場合があります。

・測定範囲外でのご使用は故障や破損の原因となりますので、測定範囲内でご使用ください。

・自動車内などに放置すると、真夏の炎天下では極度の高温になり、本器が故障するおそれがあります。このような場所には放置しないでください。

・本器のお手入れにはアルコール、シンナー、その他溶剤などを使用しないでください。本器が変形、変質したり故障したりするおそれがあります。汚れた場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませたタオルなどをよくしぼってから拭いてください。

・長期間使用しない場合は電池を取り外してください。電池を入れたままにしておきますと電池から液漏れする場合があります、故障の原因となります。

また、電池を直接ハンダ付け、ショート、分解、加熱などしないでください。発熱、液漏れ、破裂する場合があります。電池から漏れた液体に素手で触れないでください。液体が皮膚や衣服に付着した場合はきれいな水で洗い流し、目に入ったときは水で洗った後、すぐに医師に相談してください。

・ネックストラップを使用する際は十分注意してください。誤って首に巻き付き窒息を起こすなど、思わぬ事故の原因となります。

・ネックストラップ、キーリング、カラビナを付けた状態で本器を振り回さないでください。思わぬ事故や破損のおそれがあります。

修理および校正はお買い上げ店または弊社へお申し付けください。

概要

本器は黒球温度計、温度計、湿度計が一体となった携帯型の暑さ指数（WBGT）測定器です。

コンパクトサイズながら黒球付で、信頼性の高い測定ができます。

特長

●**適合規格** 電子式湿球黒球温度（WBGT）指数計 JIS B7922（クラス2）
スポーツ活動、日常生活、労働における熱中症予防の目安に使用することができます。

●**黒球付**
直射日光による輻射熱（黒球温度）をはかることができます。
ただし、黒球温度の表示機能はありません。

●**コンパクトな携帯型**
コンパクトサイズで携帯に便利です。

●**2種類の熱中症予防指針に対応**
運動に関する熱中症予防指針（※1）と日常生活に関する熱中症予防指針（※2）を切り替えて表示することができます。

※1：（公財）日本スポーツ協会「熱中症予防運動指針」

※2：日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」

●**WBGTの測定環境設定**

暑さ指数（WBGT）は日射ありと日射なしでは計算式が異なります。

本器は日射ありと日射なしを切り替えることができます。

●**警報機能**
任意に設定した熱中症注意レベルに達したとき、ブザー音やLED点滅でお知らせします。

●**三脚取り付け穴付**
三脚を利用した設置に便利です。

●**各種取り付け用品を付属**
本器を身につけるときに便利なカラビナやベルト装着部品、ネックストラップ付です。

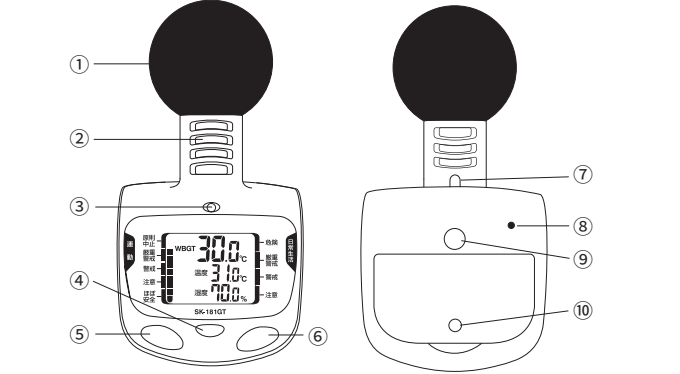
ご使用前に

ご使用前に付属品が不足していないか、本器が輸送中に破損していないかご確認ください。

万一付属品が不足していたり、本器や付属品が破損している場合は、お買い上げ店または弊社にご連絡ください。

各部の名称

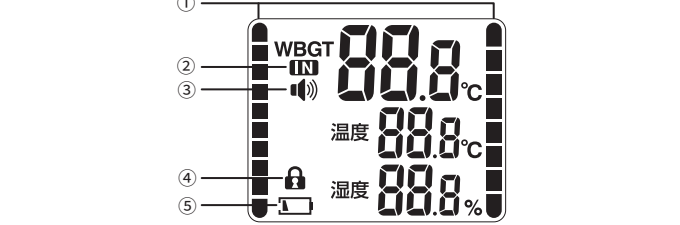
◆正面および裏面



- ①黒球：黒球温度の測定部です。
- ②温湿度検出部：温度および相対湿度の測定部です。
- ③LED：警報動作時に点滅します。
- ④電源キー
- ⑤メニューキー：設定モードに移行します。
- ⑥セレクトキー：測定モードでは暑さ指数（WBGT）の日射あり/日射なしを切り替えます。設定モードでは設定値を変更します。

- ⑦リング通し穴
- ⑧ブザー穴
- ⑨三脚ネジ穴：市販のカメラ用三脚に取り付けるためのネジ穴です。
- ⑩電池フタ固定ネジ/電池収納部：電池フタを固定しているネジです。内部は電池収納部です。

◆表示部



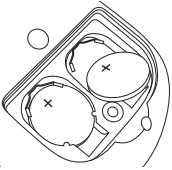
- ①熱中症注意レベル：左）熱中症予防運動指針を5段階10レベルで表示します。右）日常生活における熱中症予防指針を4段階8レベルで表示します。
- ②測定環境マーク：暑さ指数（WBGT）の測定環境が日射なし設定のとき点灯します。
- ③ブザーマーク：ブザー設定がONのとき点灯します。
- ④キーロックマーク：キーロック状態のときに点灯します。
- ⑤ローバッテリーマーク：電池残量が少なくなると点灯します。

ご使用方法

電池のセット

本器を初めて使用するときやローバッテリーマークが点灯した場合は、以下の手順で電池をセットまたは交換してください。

- ①電池フタ固定ネジをプラスドライバーを用いて緩め、電池フタを外します。電池交換の場合は古い電池を取り出してください。※電池フタ固定ネジは電池フタから外れない構造になっています。無理に引っ張ると破損します。
 - ②電池のプラス極を上にして電池収納部に電池を入れてください。
 - ③電池フタを戻して、電池フタ固定ネジを締めてください。
- ※電池1個でも動作しますが、電池寿命は2個使用より半分以下になりますので電池2個使用をお勧めします。



注意

- ・ローバッテリーマークが点灯したときは、速やかに新しい電池に交換してください。
- ・未使用電池でも長期間保管していた電池をセットすると誤動作（表示せずブザーが鳴り続けるなど）する場合があります。このようなときは新しい電池に交換してください。
- ・電池はすべて新品で同じメーカー同じ種類の電池をご使用ください。種類が違ったり、古い電池と混ぜると破裂や液漏れのおそれがあります。
- ・不要になった電池は火中に投入しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂などによりけがや、やけどをするおそれがあります。
- ・環境保全のため使用済みの電池はそれぞれの自治体の条例に基づいて処理するようお願いします。
- ・電池は乳幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合はすぐに医師に相談してください。

測定

- ①電源キーを2秒以上押して電源を入れてください。約1秒間全点灯表示およびブザー音とLEDが点滅して測定モードに移行します。
- ②周囲環境に十分なじませてください。周囲環境の暑さ指数（WBGT）、温度、湿度、熱中症注意レベルを表示します。
- ③使用後は電源キーを2秒以上押して電源を切ってください。



注意

- ・本器の周囲温度が急激に変化した場合、測定精度に影響するおそれがあります。周囲温度に十分なじませた後に測定をおこなってください。
- ・周囲環境の風速が0.3～3.0m/s以外のとき、暑さ指数（WBGT）に誤差が発生する場合があります。

●設置方法

- ①三脚で設置する場合
本器の三脚ネジ穴にカメラ用三脚を取り付けて設置してください。設置位置：地面から1.2～1.5mの高さ
- ②身につける場合
付属している各種取り付け用品をご利用ください。取り付け用品の詳しい説明は「取り付け用品の使用法」をご参照ください。



注意

- ・取り付け姿勢は黒球が上になるように設置してください。
- ・温湿度検出部の通気口をふさがないようにしてください。
- ・身につけるときは、本器が衣類で隠れないようにしてください。
- ・日射のある場所で測定する場合は、障害物や衣類で直射日光を遮らないようにして、黒球全体に直射日光が当たるようにしてください。

暑さ指数（WBGT）の測定環境切替

暑さ指数（WBGT）は日射ありと日射なしの測定環境で計算式が異なります。

測定環境に合わせて本器の日射あり/日射なし設定を切り替えてください。

※工場出荷時は「日射あり」に設定されています。

●操作方法と用途

測定状態でセレクトキーを押して、測定環境設定を選択します。

測定環境	測定環境マーク	用途
日射あり	IN 消灯	日射のある場所で使用する場合
日射なし	IN 点灯	日射のない場所で使用する場合

キーロック

誤操作防止のためキーロックすることができます。

●操作方法

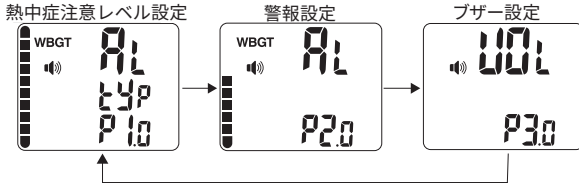
- ①測定状態でメニューキーとセレクトキーを同時に2秒以上押してください。キーロックマークが点灯してキーロックします。
- ②キーロックを解除したい場合は、もう一度①をおこなってください。キーロックマークが消灯してキーロックを解除します。

各種機能設定

熱中症注意レベル表示と警報設定をおこないます。

●操作方法

- ①電源を入れて、メニューキーを2秒以上押してください。設定モードに移行します。
- ②メニューキーを押すと下図のように設定項目が切り替わります。



熱中症注意レベル表示

本器は測定した暑さ指数（WBGT）より、設定した熱中症予防運動指針または日常生活における熱中症予防指針をバググラフで表示します。

測定環境の熱中症注意レベルを容易に確認できます。

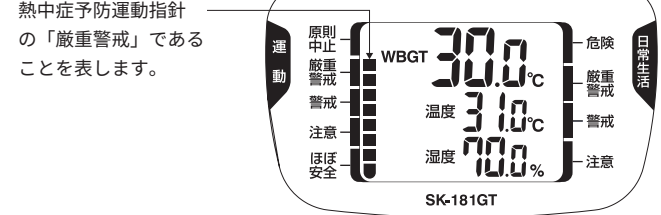
※工場出荷時は「熱中症予防運動指針」に設定されています。

○熱中症予防運動指針

「ほぼ安全」「注意」「警戒」「嚴重警戒」「原則中止」の5段階を10個のバーで表示します。

○日常生活における熱中症予防指針

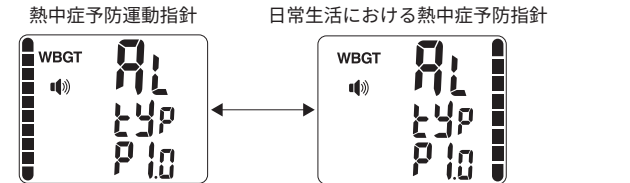
「注意」「警戒」「嚴重警戒」「危険」の4段階を8個のバーで表示します。表示例)



※熱中症予防指針の詳しい説明は「参考資料」の欄をご参照ください。

●操作方法

- ①設定モードでメニューキーを押して、熱中症注意レベル設定（P1.0）に切り替えます。
- ②セレクトキーを押して、熱中症注意レベルを選択してください。



熱中症注意レベル設定	用途
熱中症予防運動指針	スポーツ活動における熱中症予防のための指針です。
日常生活における熱中症予防指針	日常生活における熱中症予防のための指針です。

- ③続けて警報設定をおこなう場合は、メニューキーを押してください。測定モードに戻る場合は、メニューキーを2秒以上押してください。

警報機能

本器は設定した熱中症注意レベルに達したとき、ブザー音やLED点滅にてお知らせします。

※工場出荷時は熱中症予防運動指針の「嚴重警戒」およびブザーONに設定されています。

●警報動作

- ・設定した熱中症注意レベルに達したとき、10秒間警報動作します。
- ・設定した熱中症注意レベルを超えた状態が継続しているとき、10分毎に2秒間の警報動作を続けます。
- ・設定した熱中症注意レベル以上で熱中症注意レベルに上昇や下降があった場合、10秒間警報動作をして注意レベルの変動をお知らせします。

ブザー音：熱中症注意レベルに応じて音色が変わります。

熱中症予防運動指針	日常生活における熱中症予防指針	ブザーの音色
ほぼ安全/注意	注意	ピッ、ピッ、ピッ・・・
警戒	警戒	ビピッ、ビピッ・・・
嚴重警戒	嚴重警戒	ビビピッ、ビビピッ・・・
原則中止	危険	ピーーツ、ピーーツ・・・

LED点滅：ブザー音に連動して、点滅します。

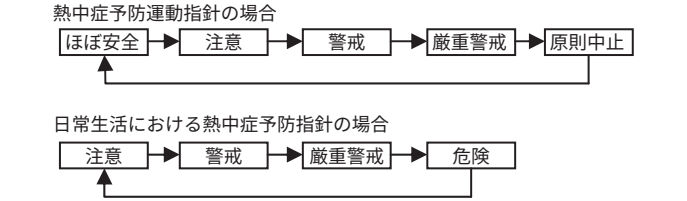
※警報が鳴りましたら、適切な熱中症予防を実施してください。

各熱中症予防指針の対応は「参考資料」の欄をご参照ください。

●警報設定方法

- ①設定モードでメニューキーを押して、警報設定（P2.0）に切り替えます。
- ②セレクトキーを押して、熱中症注意レベルを選択してください。

設定する熱中症注意レベルにバーが点灯します。



※警報設定をOFFにすることはできません。

- ③続けてブザー設定（P3.0）をおこなう場合は、メニューキーを押してください。
- 測定モードに戻る場合は、メニューキーを2秒以上押してください。

●ブザー設定方法

- ①ブザー設定（P3.0）でセレクトキーを押して選択します。

ブザーマーク	設定内容
	ブザーON
	ブザーOFF

※ブザーOFFのとき警報動作はLED点滅のみでお知らせします。

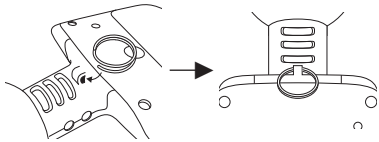
LED点滅のOFFはできません。

- ②メニューキーを2秒以上押して測定モードに戻ります。

取り付け用品の使用方法

取り付け用品により、本器を身につけることができます。

取り付け用品を取り付けるときは、本器のリング通し穴にキーリングを通してください。



●ネックストラップ

首に下げるときに使用します。

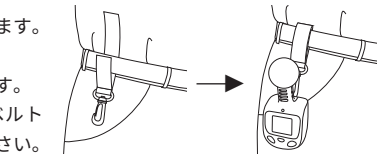
●カラビナ

フックなどに掛けるときに使用します。

●ベルト装着部品

ベルトに固定するときに使用します。

右図のようにベルト装着部品をベルトに固定し、本器を取り付けてください。



 **注 意**

- ・ネックストラップを使用する際は十分注意してください。誤って首に巻き付き窒息を起こすなど、思わぬ事故の原因となります。
- ・ネックストラップ、キーリング、カラビナを付けた状態で本器を振り回さないでください。思わぬ事故や破損のおそれがあります。

参考資料

以下は暑さ指数（WBGT）についての活用資料です。

【熱中症予防運動指針】

- （公財）日本スポーツ協会「熱中症予防ガイドブック」より抜粋

WBGT 指数	湿球 温度	乾球 温度	項目	具体例
↑ 31 ↓	↑ 27 ↓	↑ 35 ↓	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
↑ 28 ↓	↑ 24 ↓	↑ 31 ↓	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人*は運動を軽減または中止。
↑ 25 ↓	↑ 21 ↓	↑ 28 ↓	警戒 (積極的に休息)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
↑ 21 ↓	↑ 18 ↓	↑ 24 ↓	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
			ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給が必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

- 1) 環境条件の評価にはWBGT（暑さ指数とも言われる）の使用が望ましい。
- 2) 乾球温度（気温）を用いる場合には、湿度に注意する。湿度が高ければ、1ランク厳しい環境条件の運動指針を適用する。
- 3) 熱中症の発症リスクは個人差が大きく、運動強度も大きく関係する。運動指針は平均的な目安であり、スポーツ現場では個人差や競技特性に配慮する。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など。

【日常生活における熱中症予防指針】

- 日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針」Ver.4より抜粋

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28～31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25～28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休憩を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

(28～31℃は28℃以上31℃未満の意味です。)

【注意すべき生活活動強度の目安】

各温度基準域における注意すべき生活活動強度の目安は次表のとおりです。

熱中症の発症は、作業強度だけではなく、作業時間によっても大きく影響されます。このため、運動や活動をする場合、軽い活動強度であっても、定期的に休憩を取り入れ、水分を補給する必要があります。

軽い	中等度	強い
休憩・談話 食事・身の回り 楽器演奏 裁縫（縫い、ミシンかけ） 自動車運転 机上事務 乗物（電車・バス立位） 洗濯 手洗い、洗顔、歯磨き 炊事（料理・かたづけ） 買い物 掃除（電気掃除機） 普通歩行（67m/分） ストレッチング ゲートボール*	自転車（16km/時未満） 速歩（95～107m/分） 掃除（はく・ふく） 布団あげおろし 体操（強い） 階段昇降 床磨き 垣根の刈り込み 庭の草むしり 芝刈り ウォーキング（107m/分） 美容体操 ジャズダンス ゴルフ* 野球・ソフトボール*	ジョギング サッカー テニス 自転車（約20km/時） リズム体操 エアロビクス 卓球 バドミントン 登山 剣道 水泳 バスケットボール 縄跳び ランニング 134m/分 マラソン

※野球・ソフトボールやゴルフ、ゲートボールは活動強度は低いが運動時間が長いので要注意

【身体作業強度等に応じたWBGT基準値】

- 厚生労働省 基発0420第3号「職場における熱中症予防基本対策要綱の策定について」より抜粋

区分	身体作業強度（代謝率レベル）の例	WBGT基準値	
		暑熱順化者のWBGT基準値 ℃	暑熱非順化者のWBGT基準値 ℃
0 安静	安静、楽な座位	33	32
1 低代謝率	軽い手作業（書く、タイピング、描く、縫う、簿記）； 手及び腕の作業（小さいペンチツール、点検、組立て又は軽い材料の区分け）；腕及び脚の作業（通常の状態での乗り物の運転、フットスイッチ及びペダルの操作）。 立位でドリル作業（小さい部品）；フライス盤（小さい部品）；コイル巻き；小さい電機子巻き；小さい力で駆動する機械；2.5km/h以下での平たん（坦）な場所での歩き。	30	29
2 中程度代謝率	継続的な手及び腕の作業〔くぎ（釘）打ち、盛土〕； 腕及び脚の作業（トラックのオフロード運転、トラクター及び建設車両）；腕と胴体の作業（空気圧ハンマーでの作業、トラクター組立て、しっくい塗り、中くらの重さの材料を断続的に持つ作業、草むしり、除草、果物及び野菜の収穫）；軽量の荷車及び手押し車を押したり引いたりする；2.5km/h～5.5km/hでの平たんな場所での歩き；鍛造	28	26
3 高代謝率	強度の腕及び胴体の作業；重量物の運搬；ショベル作業；ハンマー作業；のこぎり作業；硬い木へのかんな掛け又はのみ作業；草刈り；掘る；5.5km/h～7km/hでの平たんな場所での歩き。重量物の荷車及び手押し車を押したり引いたりする；鋤物を削る；コンクリートブロックを積む。	26	23
4 極高代謝率	最大速度の速さでのとても激しい活動；おの（斧）を振るう；激しくシャベルを使ったり掘ったりする；階段を昇る；平たんな場所では走る；7km/h以上で平たんな場所を歩く。	25	20

- 注1 日本産業規格 JIS Z 8504（熱環境の人間工学— WBGT（湿球黒球温度）指数に基づく作業者の熱ストレスの評価—暑熱環境） 附属書 A「WBGT熱ストレス指数の基準値」を基に、同表に示す代謝率レベルを具体的な例に置き換えて作成したもの。

- 注2 暑熱順化者とは、「評価期間の少なくとも1週間以前から同様の全労働期間、高温作業条件（又は類似若しくはそれ以上の極端な条件）にばく露された人」をいう。

エラーメッセージ

本器に異常が発生した場合、表示部にエラーメッセージを表示してお知らせします。

項目	コード	内容	対策
暑さ指数 (WBGT) 温度 湿度	E02	測定値が表示範囲の下限を超えています。	測定範囲内で使用してください。それでも解決しない場合はセンサが故障している可能性があります。
	E03	測定値が表示範囲の上限を超えています。	
暑さ指数 (WBGT)	E04	暑さ指数（WBGT）が計算できない状態です。	測定範囲内で使用してください。それでも解決しない場合はセンサが故障している可能性があります。
上記以外のエラーメッセージが表示された場合や上記の対策をしても改善しない場合は、お買い上げ店または弊社にご相談ください。			

トラブルシューティング

不具合症状	予想される原因	対策
電源が入らない	電池残量が不足している	新しい電池に交換してください。 「電池のセット」の欄参照
測定値が安定しない	本器が周囲温度になじんでいない ノイズなどによる影響	本器を周囲温度になじませてから測定してください。 電氣的ノイズや静電気が発生する環境では使用しないでください。
表示異常	ノイズなどによる影響	電氣的ノイズや静電気が発生する環境では使用しないでください。
上記の対策をしても改善しない場合は本器の故障が考えられます。お買い上げ店または弊社にご相談ください。		

オプション

製品名	製品番号
三脚	No.8310-90

仕 様

製 品 名	黒球型携帯熱中症計	
型 式	SK-181GT	
製 品 番 号	8313-50	
暑 さ 指 数 (WBGT)	測定範囲	0.0～50.0℃
	精 度	±2.0℃（20.0～40.0℃）、±3.0℃（左記以外）
温 度	測定範囲	0.0～50.0℃
	精 度	±0.6℃（20.0～40.0℃）、±1.0℃（左記以外）
湿 度	測定範囲	10.0～95.0%rh
	精 度	±5.0%rh（30.0～90.0%rh/at20～30℃） ±7.0%rh（上記以外）
黒 球 温 度 (表示なし)	測定範囲	0.0～60.0℃
	精 度	±0.6℃（20.0～40.0℃）、±1.0℃（左記以外）
最 小 表 示 桁	0.1	
サ ン プ リ ン グ	約20秒	
適 合 規 格	JIS B7922（2023年改訂）精度区分：クラス2	
使 用 環 境 条 件	0～50℃ 95%rh以下（結露なきこと）	
保 管 環 境 条 件	－10～50℃（結露なきこと）	
電 源	DC3V コイン形リチウム電池（CR2032）2個（並列接続）	
電 池 寿 命	連続使用で約6か月 ※警報機能1日2回使用時	
材 質	ケース、黒球：ABS	
寸 法	約(W)60×(H)122×(D)25mm 黒球：φ40mm	
質 量	約70 g（電池含む）	
付 属 品	取扱説明書（本書）1部 コイン形リチウム電池（CR2032）2個 ネックストラップ 1本、カラビナ 1個 ベルト装着部品 1個、キーリング 1個	

※付属の電池はお試し用のため、電池寿命が規定より短い場合があります。
※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

JIS B7922 クラス2の適用範囲は以下の通りです。 WBGT指数 20.0～40.0℃ 相対湿度 30.0～90.0%rh 推定黒球温度 20.0～40.0℃（表示はありません） 気 温 20.0～30.0℃ ※測定条件：風速0.3～3.0m/s

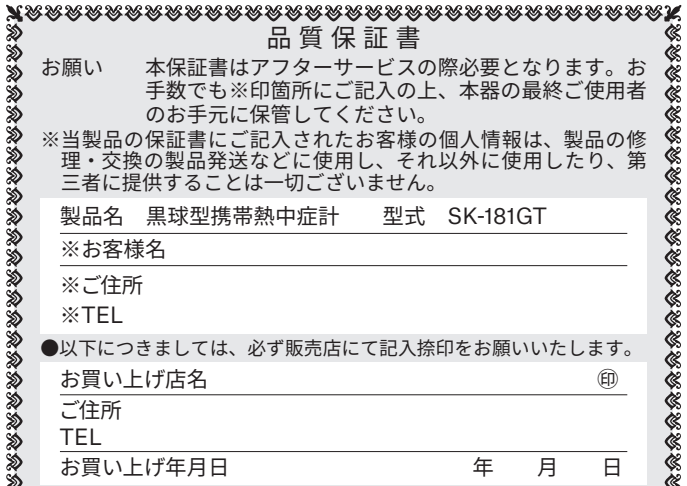
インターネットホームページ

弊社製品の最新情報は、インターネットホームページでご覧いただけます。

https://www.sksato.co.jp

保証規定

- 1) 取扱説明書の注意に従った正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ後1年間、無償で修理または交換させていただきます。その他の責はご容赦願います。
- 2) 修理の必要が生じた場合は製品に本証を添えて、お買い上げ店または弊社にご持参またはご送付ください。
- 3) 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
イ．誤用・乱用および取扱不注意による故障
ロ．火災・地震・水害等の災害による故障
ハ．不当な修理や改造および異常電圧に起因する故障
ニ．使用中に生じた傷等の外観上の変化
ホ．消耗品および付属品の交換
ヘ．本証の提示がない場合および必要事項（お買い上げ日、販売店名等）の記入がない場合
- 4) 本証は日本国内でのみ有効です。また本証は再発行いたしません。大切に保管してください。



**品質保証書**

お願い 本保証書はアフターサービスの際必要となります。お手数でも※印箇所にご記入の上、本器の最終ご使用者のお手元に保管してください。

※当製品の保証書にご記入されたお客様の個人情報、製品の修理・交換の製品発送などに使用し、それ以外に使用したり、第三者に提供することは一切ございません。

製品名	黒球型携帯熱中症計	型式	SK-181GT
※お客様名			
※ご住所			
※TEL			

●以下につきましては、必ず販売店にて記入捺印をお願いいたします。

お買い上げ店名	Ⓜ
ご住所	
TEL	
お買い上げ年月日	年 月 日



株式会社佐藤計量器製作所

101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町 3-4

TEL 03-3254-8111 FAX 03-3254-8119